

魂のピアニスト、初来日のドイツ伝統オーケストラと奇跡の初共演!!

フジコ・ヘミング &

バーデン・バーデン南西ドイツ・フィルハーモニー管弦楽団



2020年

5月24日(日) 14:00 開演

高崎芸術劇場 大劇場

S席 11,000円 A席 9,000円 B席 7,000円 C席 5,000円(税込)

フジコ・ヘミング写真: © 中嶋英雄

曲目

- メンデルスゾーン: 序曲『フィンガルの洞窟』 ● モーツァルト: ピアノ協奏曲第21番ハ長調
- リスト: ラ・カンパネラ ● ベートーヴェン: 交響曲第6番『田園』

指揮: マリオ・コシック ピアノ: フジコ・ヘミング
オーケストラ: バーデン・バーデン南西ドイツ・フィルハーモニー管弦楽団



指揮: マリオ・コシック

2/3(月) 10:00より一般発売

《チケットお取り扱い》● コンサート・ドアーズ 03-3544-4577 (平日10:00~18:00) www.concertdoors.com

● 高崎芸術劇場チケットセンター 027-321-3900 (10:00~18:00)

高崎芸術劇場メンバーズ <http://takasaki-foundation.or.jp/theatre>

● 楽天チケット <http://r-t.jp/classics> (座席選択可、さらに楽天スーパーポイントがたまる! 使える!)

● チケットぴあ <http://t.pia.jp/> ● e+ (イープラス) <http://eplus.jp/> ● ローソンチケット <http://l-tike.com/>

※都合により曲目が変更となる場合があります。 ※未就学児のご入場はご遠慮ください。



楽天チケットQRコード

[主 催・お問い合わせ] コンサート・ドアーズ 03-3544-4577 (平日10:00~18:00)

[共 催] 高崎芸術劇場

フジコ・ヘミング

ますます深みを増していく、 魂のピアニストの旋律!

日本人ピアニストの母と、ロシア系スウェーデン人デザイナーの父を両親として、第二次世界大戦直前のベルリンに生まれる。父と別れ、東京で母の手ほどきでピアノを始める。東京藝術大学を経て、28歳でドイツへ留学。ベルリン音楽学校を優秀な成績で卒業。その後演奏家としてキャリアを積み、バーンスタインなど世界的音楽家からの支持を得るが、大切なリサイタル直前に風邪をこじらせ聴力を失う。失意の中、ストックホルムに移住。ピアノ教師をしながら、欧州各地でコンサート活動を続ける。

1999年には、フジコのピアニストとしての軌跡を描いたNHKのドキュメント番組、ETV特集「フジコ〜あるピアニストの軌跡〜」が放映され大反響を巻き起こす。「フジコの演奏をもっと聴きたい」という視聴者からの要望が殺到し、番組は幾多に及び再放送され、さらに続編「フジコ、ふたたび〜コンサートin奏楽堂」も放送された。

同年に発売されたファーストCD『奇蹟のカンパネラ』は200万枚を超える売り上げという、クラシック界異例の大ヒットを記録し、いまだにその記録を更新し続けている。

また、その稀有な半生をフジTV系列で菅野美穂主演でドラマ化され、高視聴率を獲得し人気を不動のものにした。

これまで2枚のCDで日本ゴールドディスク大賞、4度にわたる各賞のクラシック・アルバム・オブ・ザ・イヤーを受賞。世界各国の公演に出演し続け、その名声を海外に広げている。

2016年4月にはニューヨークの国連本部会議場で「日本国連加盟60周年記念」の文化事業で演奏し拍手喝采。その後「日本人移民開始80周年記念文化事業」コンサートと南米ツアーを大好評で終えた。

2018年3月にはイタリア国立管弦楽団とイタリアツアー、オーストリアでウィーン室内管弦楽団とモーツァルトホールで共演、春のジャパント

アを終えて7月ニューヨークのカーネギーホール公演、9月からのヨーロッパツアー10月末にはアメリカ、サンフランシスコに移動してコンサートを終え2018年最終のジャパントアを大盛況に終える。

2019年3月パリ、サル・ガヴオのソロリサイタルを大成功に終えポルトガル公演へ。ポルトガルのブラガ・ヴィゼウ・ローレでポルトガルフィルハーモニー管弦楽団と共演、ローレではソロリサイタルも行い成功をおさめた。4月よりジャパントアを開始し、ウォルト・ディズニー・コンサートホール、カーネギーホールなどのアメリカ公演も成功させ、ますます精力的に活動している。

フジコ・ヘミング写真：© 中島英雄



マリオ・コシク(指揮)

2000年にカルロヴィ・ヴァリ・シンフォニー・オーケストラの首席指揮者に任命。これを機に、プラハ室内管弦楽団、プラハ交響楽団、ブルノ国立管弦楽団、オナスラヴァのヤナー・チェク・フィルハーモニー管弦楽団など、ヨーロッパでも有数のアンサンブル、管弦楽団や歌劇場に客演として招待される。また、スロバキア国立放送交響楽団の指揮者として、国内外で高く評価されている。モラヴィア・フィルハーモニー管弦楽団との共演で2006年に初来日し成功をおさめ、その後日本には何度も招聘されツアーを行っている。



バーデン・バーデン 南西ドイツ・フィルハーモニー管弦楽団

ウェーバー、パガニーニ、ヴェータン、リストも共演した伝統あるオーケストラ。ロッシェニ「スターバト・マーテル」のドイツ初演はこのバーデン・バーデンで演奏された。1906年のバーデン・バーデン音楽祭ではシュトラウスが指揮をし、ブゾーニとクライスラーが演奏した。またバルトークが「弦楽器と打楽器とチェレスタのための音楽」を初演するなど、ドイツが誇る名門オーケストラである。近年でもドミンゴ、バルツァ、カレーラス、ネトレブコ等とガラ・コンサートを開く等、創設からの伝統を今に受け継ぎ全欧州で活躍中。

入場券ご購入にあたり、次のことをあらかじめご承知おき下さい。

- ①お買い求めいただきましたチケットのキャンセル・変更はできません。
- ②開演時間に遅れた場合、休憩までご入場をお待ちいただくか指定場所でのお立ち見となります。余裕を持ってご来場ください。
- ③場内での写真撮影、録音、録画は固くお断りします。
- ④未就学児のご入場はご遠慮ください。
- ⑤ネットオークションなどによるチケット販売は、トラブルの原因になりますのでお断りいたします。
- ⑥都合により出演者、曲目が変更となる場合がございます。